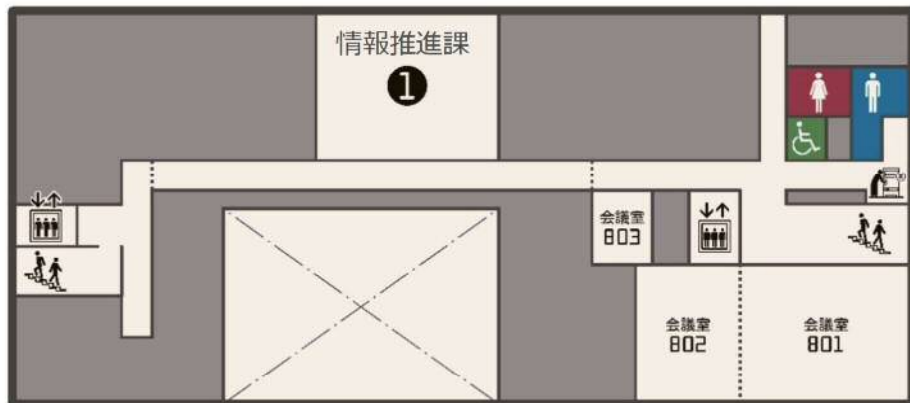
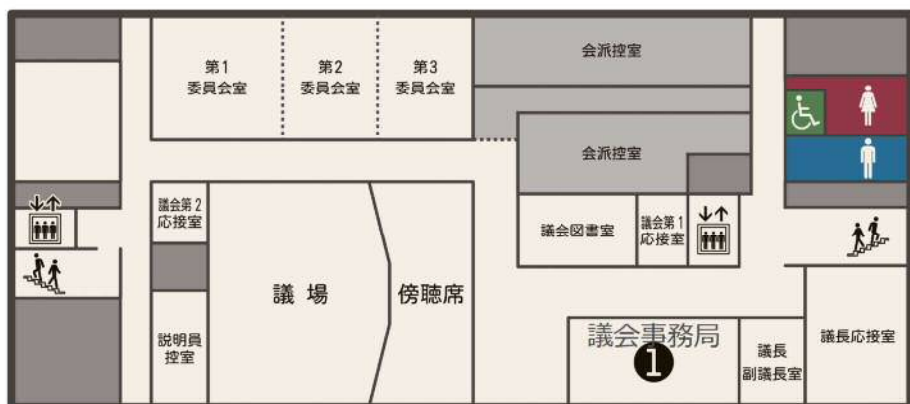


主な用途  
会議室801・802  
地域情報センター



8F

主な用途  
市議会議事堂



7F

主な用途  
教育長室  
執務室 (教育委員会功)



6F

主な用途  
執務室 (建設都市)

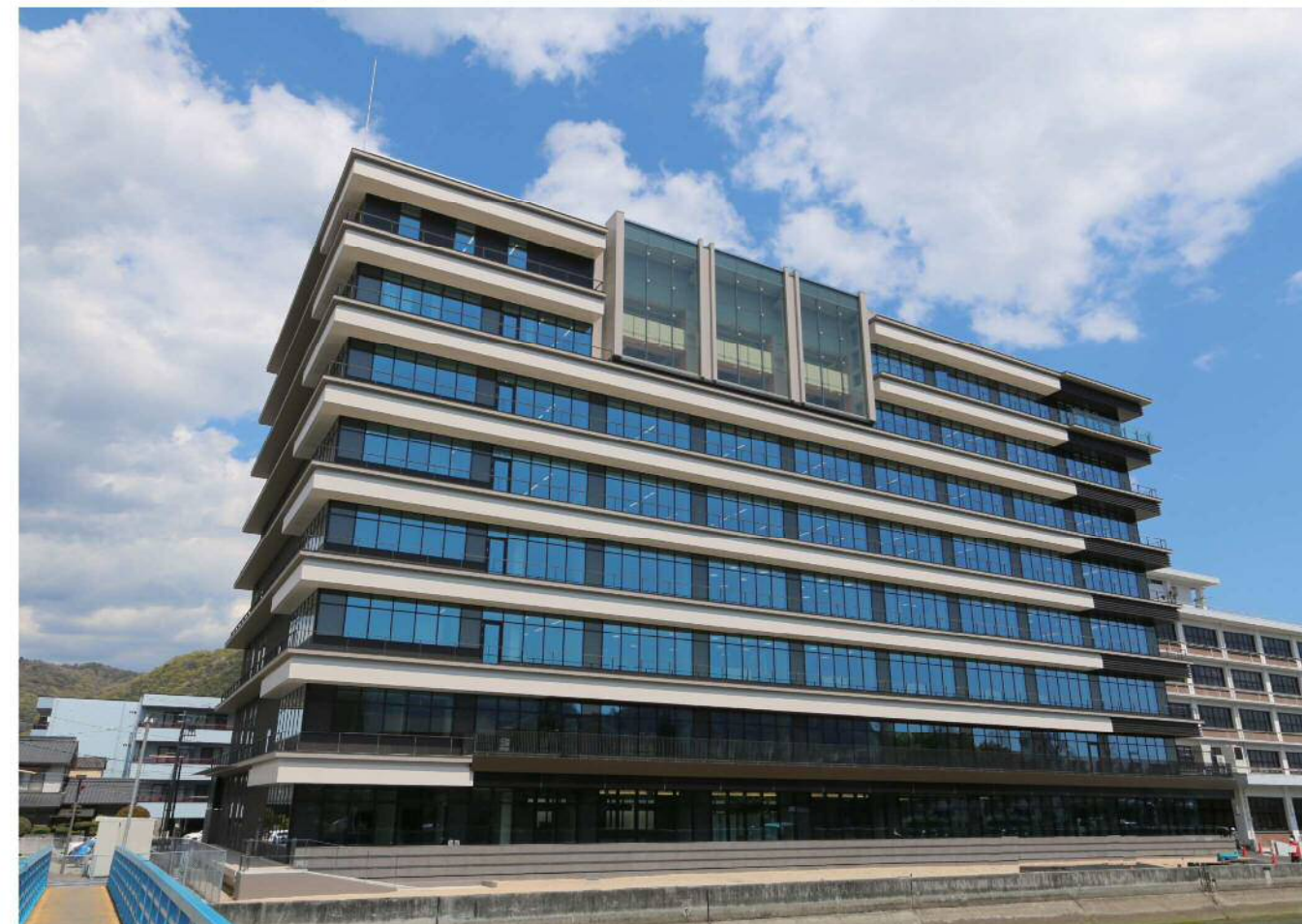


5F



三原市役所  
新庁舎のご案内  
MIHARA CITY OFFICE

瀬戸内をのぞむ シンプルで機能的な“まちづくりの拠点”をめざして



施設概要

規模 地上8階 塔屋1階  
構造 基礎免震構造 鉄筋コンクリート造+一部鉄骨造  
延床面積 12,261.41㎡  
建築面積 1,929.87㎡  
設計・監理 山下・NSP設計共同体  
施工 建築主体 鹿島建設・井上建設共同企業体  
電気設備 坂本電気工事・広島電気工事共同企業体  
空調換気設備 フソウ・旭鉄工共同企業体  
給排水衛生設備 旭鉄工・サス設備工業共同企業体

計画概要

事業期間 平成26～31年度  
建設場所 本庁舎敷地内 (敷地面積 5,730.08㎡)  
建設手順 同一敷地内で議会棟解体後に新庁舎棟を建設

事業費

総事業費 66億3,000万円  
うち工事費 58億円 (建設工事・解体工事・外構工事)  
主な財源 合併特例債 61億円 ※一部予定事業費を含む

経緯

平成25年度 本庁舎の耐震診断・庁舎整備方針案作成  
平成26年度 庁舎整備方針決定 (庁舎整備検討委員会の開催, 市議会庁舎整備調査特別委員会の調査審議)  
平成27.7月 新庁舎建設基本計画策定  
平成27.7～9月 新庁舎建設基本・実施設計 公募型プロポーザル  
平成27.9月～平成29.2月 新庁舎建設基本・実施設計  
平成29.3月 新庁舎建設工事 (建築主体工事) 外3件の契約締結  
平成29.4月～平成31.4月 新庁舎建設工事 本体工事  
平成31.4.20 新庁舎落成記念式典・市民見学会  
令和元.5.7 開庁



三原市

〒723-8601  
広島県三原市港町三丁目5番1号  
電話0848-64-2111(代表)

## 新庁舎の特徴

利用しやすく、  
質の高い  
市民サービスを  
提供する庁舎



証明書の発行や福祉・子育ての手続きなど、市民の利用頻度が高い窓口を1・2階に配置し、色と番号でわかりやすいサインを設置しました。また、城町庁舎や円一町庁舎などに分散していた部署を新庁舎に集約します。



すべての階に多機能トイレを設置したほか、正面玄関から近い位置にエレベーターを配置するなど、誰もが安心して利用できるようユニバーサルデザインを取り入れました。

市民の安心  
安全を支える  
庁舎



災害時に対策本部を置く拠点機能を維持できるよう、地震の揺れを大幅に低減する基礎免震構造を採用しました。また、津波にも対応できるよう、1階フロアを浸水想定深さより高く設定しました。



停電や上下水道が遮断された場合を想定し、非常用発電機や受水槽、緊急汚水槽などを完備しました。

経済的で  
将来の変化に  
対応できる庁舎



維持費の低減を図るため、外周に庇の役割を果たすメンテナンスバルコニーを設けるとともに、熱を通しにくい複層ガラスを採用しました。また、雨水をトイレの洗浄に利用するなど、自然エネルギーを活用します。



社会情勢の変化や組織の改編に柔軟に対応できるよう、仕切りや壁を極力設けない「オープンフロア」を採用しました。

立地を生かし、  
まちとつながる  
庁舎



西野川の水面に呼応する白い水平ラインとまちとの調和に配慮した落ち着いた色調を採用しました。

親しみが感じられ、  
人がつながる  
きっかけを  
つくる庁舎

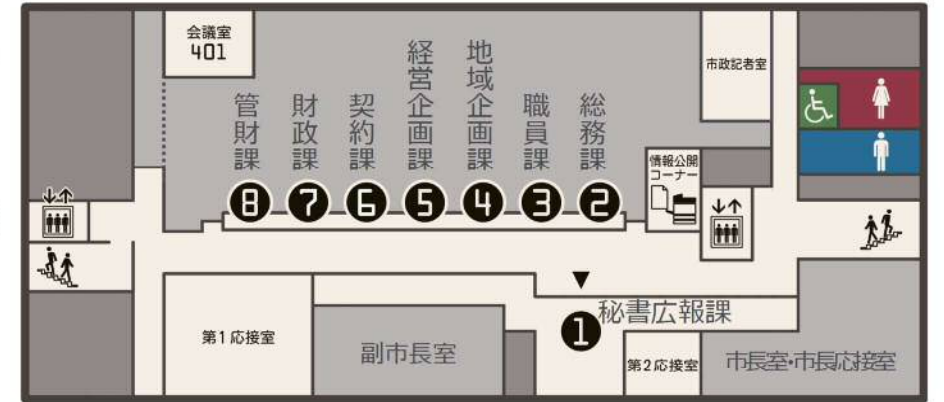


最上階に、瀬戸内海や市街地を一望できるスペース（会議室801・802）を設けました。しばらくの間、来庁者に開放し人が集える場とします。

## 各階の案内

主な用途  
市長・副市長室  
執務室（経営企画・総務・財務）

4F



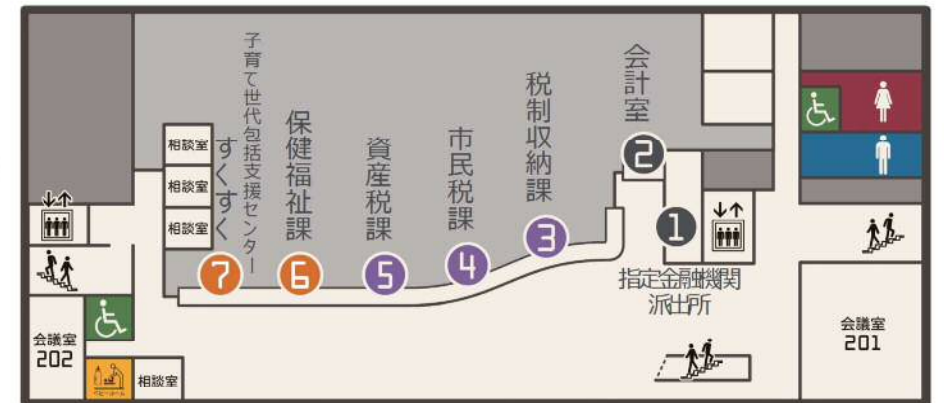
主な用途  
危機管理課・防災会議室  
執務室（生活環境・経済功）

3F



主な用途  
市民窓口（税務・保健ほか）  
指定金融機関派出所  
会議室201

2F



主な用途  
総合案内  
市民窓口（市民課・福祉）  
法務局登記証明コーナー

1F

